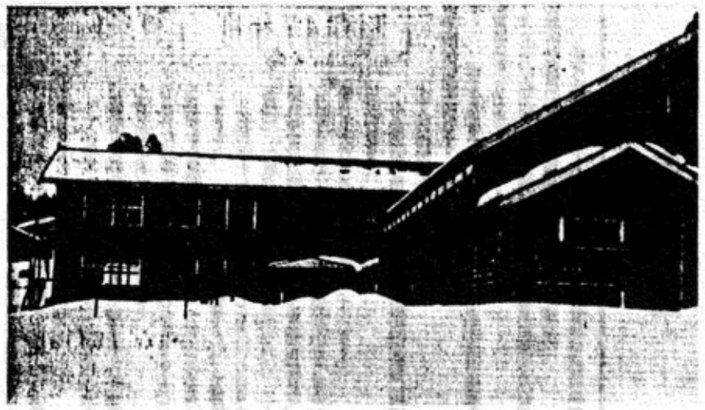
川口町

公民館報

第118号

発行人　古田島　正

印刷所　山勝堂印刷所



（町立田麦山中学校々舎）

学校統合計画具体化

教育の機会均等、学力の向上をめざす

中学校統合　昭和四十九年度目標

和南津校統合　昭和四十八年度目標

町の人口動態から将来の学校児童生徒の推移を予測すると次表のようになり、極端に教育内容の充実学校経営の合理化に及ぼす支障が大きくなって来る。

社会情勢の急激な進展から高度教育が叫ばれている今日、小規模校の統合整備により適正規模の学校を設置し施設設備並びに教員組織の充実を図り児童生徒の学力及び体位の向上に今こそ全力をあげて努めなければならない。

単級あるいは複式学級では一人の教員が発達段階を異にする、いくつもの学年の児童生徒を同時に指導しなければならないと言う極めて非能率的であるばかりではなく教育効果にも大きな影響があると思われる。

特に中学校の場合は、教科担任制であるため小規模校に於いては教職員の充足が不可能となり、免許の有無を問わず一人の教員が数教科を担任しなければならないため教員の負担過重はもとより、充分な教育効果も期待できない場合が多い。

（資料1）　昭和46年5月1日調査

(1) 小学校年度別児童数及び学級数

学校名＼年度	昭47年 1年	昭47年 児童総数	昭47年 学級数	昭48年 〃	昭48年 〃	昭48年 〃	昭49年 〃	昭49年 〃	昭49年 〃	昭50年 〃	昭50年 〃	昭50年 〃	昭51年 〃	昭51年 〃	昭51年 〃	昭52年 〃	昭52年 〃	昭52年 〃
泉水小学校	20	143	6	8	117	6	18	114	6	10	104	6	12	92	6	14	83	6
和南小学校	7	53	3	15	55	3	7	53	3	8	53	3	11	56	3	9	57	3
川口小学校	46	327	12	40	314	11	62	307	11	44	311	11	43	290	10	45	285	9
田麦山小学校	12	75	6	7	73	4	6	70	4	4	60	4	8	55	4	7	50	3
小高分校	3	15	2	3	15	2	1	10	2	5	12	2	8	17	2	2	16	2
木沢小学校	4	36	3	8	37	3	4	31	3	3	31	3	3	30	3	3	25	3
山ノ相川学校	2	21	3	2	15	3	1	14	3	1	12	3	0	8	3	0	6	3
合計	94	670		83	726		99	599		75	583		85	548		80	522	

(2) 教員組織の充実強化がなる。

単式及び複式学級がなくなり教員の充足が容易となる。

特に中学校の場合教科担任制の強化が図られる。

(3) 教育内容の充実が図られる。

(1)及び(2)により教育内容の充実が図られるほか、児童生徒間の相互教育にも効果があがる。

その他施設設備の利用が効率的となる。又学校管理の合理化学校財政の健全化等が促進される。

▽小中学校適正配置の基準については

Ⓐ基準

(1)適正規模

ロ　十二学級～十八学級

県　六学級～二十四学級

(2)通学距離

ロ県　小学校　四キロ以内

中学校　六キロ以内

Ⓑ具体的方針

(1)分校は本校に可能な限り吸収することを原則とする。

(2)冬季分校は可能な限り廃止する。

(3)小学校五学級以下はできるだけ統合し複式学級を解消するようにする。

(4)統合によって交通機関を利用して通学しなければならない場合の交通機関の所要時間は二十分以内を限度とする。

▽学校統合の効率性については

(1)施設設備の確保充実が図られる。

従来小規模校にそれぞれ配分した施設設備費も、整備統合された学校に充当されるため確保充実は容易となる。

(2)教員組織の充実強化がなる。

単式及び複式学級がなくなり教員の充足が容易となる。

特に中学校の場合教科担任制の強化が図られる。

(3)教育内容の充実が図られる。

(及び(2)により教育内容の充実が図られるほか、児童生徒間の相互教育にも効果があがる。

その他施設設備の利用が効率的となる。又学校管理の合理化学校財政の健全化等が促進される。

▽小中学校適正配置の基準については

Ⓐ基準

(1)適正規模

ロ　十二学級～十八学級

県　六学級～二十四学級

(2)通学距離

ロ県　小学校　四キロ以内

中学校　六キロ以内

Ⓑ具体的方針

(1)分校は本校に可能な限り吸収することを原則とする。

(2)冬季分校は可能な限り廃止する。

(3)小学校五学級以下はできるだけ統合し複式学級を解消するようにする。

(4)統合によって交通機関を利用して通学しなければならない場合の交通機関の所要時間は二十分以内を限度とする。

（資料2）　(1) 中学校年度別生徒数及び学級数

年度＼学校別	川口中 生徒数	川口中 学級数	田麦山中 〃	田麦山中 〃	山ノ相川分中 〃	山ノ相川分中 〃	木沢中 〃	木沢中 〃
47年	344	10	59	3	8	2	35	3
48年	334	10	47	3	10	2	25	3
49年	321	10	42	3	10	2	30	3
50年	278	9	44	3	13	2	20	2
51年	274	9	48	3	9	2	19	2
52年	257	8	48	3	9	2	15	2
53年	263	8	46	3	8	2	16	2
54年	230	7	40	3	6	2	20	2
55年	235	7	32	3	5	2	16	2
56年	223	7	26	2	4	2	15	2

町の人口（2月末）

世帯数	1,525	（＋4）
人口		
男	3,420	（－1）
女	3,569	（－4）
計	6,989	（－5）

（）は1月との比較

中山旧事談覚えの内（関東街道の推移）【その二】

中山地区館長　古田島　愼市

さて、口から中山へ、そして和南津渡しへとした江戸街道が、いつの頃からのものであったであろうか。古記録などの昔の街道筋を整理してみると宝暦六年（一七五六）「越後名寄」による道中宿駅では長岡、六日市、三宅川口、和南津渡し、堀之内、浦佐となっており今考えられる道筋に同じである。それから約百年昔の寛文二年（一六六二）「高田藩松平越後守記録」（温古堂）によるものでも、長岡、六日市、中条、妙見、川口、和南津渡し、堀之内とあって変りがない。ところがこれより更に約五十年昔にさかのぼった元和三年（一六一六、江戸時代初頭）の「堀直寄先触書」によるものでは長岡、十日町、蒔生、竜光、根小屋、小出島、佐梨、虫野と続いて川口宿や和南津渡しがなくなっている。即ちこれまでの様に和南津渡しで魚野川の反対に通りが移ったのではなくて、川の右岸のコースがずっと続いていた事になる。更にさかのぼった永禄十二年（一五六九）関東北条氏康の使者が上杉謙信と和を結ぶべく来越していたが、これは塩沢、下倉、小千谷、北条、柏崎と経て越府に向った事になっているから、これも又下倉、根小屋、竜光とした川右岸のコースが取られていた事がわかる。和南津での川渡りがなくなって、今の道路でみるなら野田から新道島に通ずる道に考えられる。しかしここにはかって野田笠村の先で魚野川の激流が断崖のすそを洗い、へつりと称する難所であって住来には全く容易ではなかった筈である。それで古くは竹田の下の砂田からホッチ　ウゲ経て新道島の手前に抜ける山越えのコースがあったのである。しかしこの当時中世関東街道が魚野川右岸コースを通って、竜光、根小屋に抜けた事が確実としても川口地区間でのコースを通ったかを復原するは非常にむずかしい。宿駅に川口の名が出ていないところをみると、案外川口を通らないで蒔生を経てすぐ、多分木津か天納あたりで山側に入り、相川から木沢近辺を越えて竜光に出るコースが中世街道としてあったのではあるまいか。新道島の後山にある羽黒屋敷が中世館跡と考えられ、木沢の故星野亀吉氏の研究による木沢熊辺が中世集落として大きく栄えていたとの事情は、この中世街道筋にあてて考える事が出来るのではあるまいか。してみると天納と牛ケ首周辺が一つの街道で結ばれた事になり中世の牛頭天王の信仰がこの両地名に関係した事も思われるのである。

中世関東街道がこのような山越えの道であった事になると川口が関東本街道筋の宿駅としてひらけたのも中世以降江戸時代となるわけで、丁度野田部落が江戸街道筋からわずかに外れておった如く、川口も又近世初頭までは木街道に離れており、中世歴史の舞台にはなり得なかった事になる。そして中山が近世街道で川口と和南津の間の中の山であった如く中世街道には蒔生、竜光の間に越ゆべき中の山があって、それが川口町地域であった事になる。中山の名所の起りを単に川口和南津間の中の山にではなく、中世街道蒔生竜光の中の山にまでさかのぼって求める事が出来るのではあるまいか。

この様にして来ると、川口町がかつて文化の大動脈と考えられる信濃川と魚野川の合流点にあって関東につながる魚野川文化を通じてもたらされる信州文化、そして海岸から信濃川をさかのぼって来る出雲系、または上方文化との融合接点にあって、ブレ縄紋の荒屋遺跡、和南津美水門故事、証菩式円川合神社、中山古墳群に示される如く早くから拓けながらも、周辺文化の中心地として発展し得なかった事情は、川口が川口でなくして関東街道の中の山であった事に由縁するものと考える事が出来よう。

本小稿のとりまとめが短期日であった事から道筋の実地踏査や資料考究に充分意をつくしてないが江戸街道筋に関する諸氏の知見をお寄せいただいて叱正をいただければ幸いである。

短歌

長岡市町田町　関　秀月

○かんごふの笑へばえくぼ出来し年若くして十九か二十

○姉さんのように思いしかんごふの脈をとる手のあたたかきかな

○心よく人をほめた人何んとなく人をにくみてみたくなりけり

○少年の日事などを思いだし急に恋しく母のいる村

○古里の十久々に我がふめば道広くなり橋新しく

○はてしなく広がる空のその果てに我が幸せのあると思えり

昭和47年度 予算条例改正審議

―町議会…三月定例会―

町議会三月定例会は、三月十日に招集され同日から会議が始まりました。

十日の本会議では、星野町長の施政方針の表明があり、提出された議案について当局から説明がなされました。

昭和四十七年予算案は、一般会計で三億六千百万円、特別会計を含めて総額五億七千六百万円となっています。

本会議の第二日は十三日に開かれ、予算案や関係議案に対する総括質疑のあと、議案を委員会に付託して実質審議に入りました。

また町政に対する一般質問では山崎良治議員が町の長期計画について、学校統合と通学上の安全確保対策についての二点を、大滝竹太郎議員が過疎対策について質問し、町長の基本的な考え方をただしました。

このあと昭和四十六年度最後の補正予算案等八件を審議して可決しました。

それによりますと、昭和四十六年度の一般会計予算は九千三百万円が追加され、予算総額は三億九千九七七万円となりました。

三月定例会は、二十二日まで委員会での審査が続き、二十三日に本会議が開かれて幕を閉じる予定になっています。

三月定例会付議事件一覧表

1. 田麦山支所設置条例の一部改正
2. 議員の報酬及び費用弁償条例の一部改正
3. 非常勤特別職の報酬及び費用弁償条例の一部改正
4. 職員の給与条例の一部改正
5. 督促手数料及び延滞金徴収条例の制定
6. 保育所条例の一部改正
7. 火葬場使用条例の一部改正
8. 集落開発センター条例の制定
9. 国民健康保険条例の一部改正
10. 診療所勤務医師旅費支給条例の一部改正
11. 水道条例の一部改正
12. 農業共済条例の一部改正
13. 昭和四十七年度一般会計予算
14. 〃　国民健康保険特別会計予算
15. 昭和四十五年度簡易水道事業特別会計予算
16. 昭和四十五年度ガス事業特別会計予算
17. 昭和四十五年度農業共済事業特別会計予算
18. 字の区域及び名称の変更
19. 一部事務組合規約の変更
20. 専決処分事業の承認
21. 昭和四十六年度一般会計補正予算　可
22. 昭和四十六年度国民健康保険特別会計補正予算　可
23. 昭和四十六年度簡易水道事業特別会計補正予算　可
24. 昭和四十六年度ガス事業特別会計補正予算　可
25. 昭和四十六年度農業共済事業特別会計補正予算　可

三月定例会に臨んで

議会議長　上村正雄

本年は四十年ぶりの小雪でありましたが、昨年来の景気不況ムードの中で春を迎えようとしております。この不景気が直接間接的に町の財政を圧迫し、全国的に地方財政の健全化が叫ばれておりますが、町議会の三月定例会が十日に招集され、一層の厳しさと責任を感じて会議に臨んでいる昨今であります。

この三月定例会は、昭和四十七年度町行政の根幹となる当初予算を定める最も重要な会議でありまして、予算額においては総括で五億七千万円におよび、条例改正など関連議案の審議にあたって議会といたしましては、七千町民の福祉増進の見地から、提案されております諸議案に慎重審議をつくして、町民の要望する諸施策を町政運営上に力強く反映すべく努力したいと存じます。

また、昨年より町当局が一町一中学の学校統合の推進を打ち出しておりますが、町民のご理解とご協力をまって円満なうちに実現出来るよう、特別委員会を設置して検討を重ね、真剣にこれと取り組んでおります。

議会はその職責の重大さと町民の代表であることを常に意識して町の発展につくしたいと存じますので、町民各位の一層のご理解をお願い申し上げます。

特別委員会が発足

学校統合調査　新幹線対策

町議会に、学校統合調査特別委員会と、上越新幹線対策特別委員会の二つの委員会が同時に発足しました。

特別委員会は専門的に調査研究をすることになります。

メンバーは次のとおりです。

学校統合調査特別委員会

○原田登喜治　○山崎良治
大滝竹太郎　青柳弘
広井松雄　江畠啓
小見昇司　星野喜勇平
小林広吉　喜多村友蔵
関登代一　上村喜平治
綱直太郎

上越新幹線対策特別委員会

○古田島善八
猪沢哲男
綱与市
関久作
喜多村友蔵
上村喜平治
綱直太郎
大滝竹太郎
○広井松雄

○印　委員長
○印　副委員長

北陸地方長期予報

新潟地方台発表

予報の概要

三月は北高型や冬型の気圧配置が現われて寒い日が多い見込です。しかし、四、五月は移動性高気圧の影響で比較的温暖な日が多いでしょう。

三月の予報

冬型の気圧配置が現われたり、北高型の気圧配置になったりして平年より寒い日が多く天気も変わりやすいみこみです。また一時やや強い寒気がはいって雪が多くなる所がありましょう。

平均気温はやや低く、降水量は平年並みでしょう。また、日照は平年並みかやや少ないみこみです。

四月の予報

北日本に寒気がはいりやすく、北陸でも一時この影響をうけることもありますが、西日本を時々通る移動性高気圧の影響で比較的温暖な日が多いでしょう。平均気温は平年並みかやや高く、降水量は平年並みかやや少ないでしょう。また、日照は平年並みかやや多いみこみです。

五月の予報

移動性高気圧や気圧の谷が交互に通り、天気は周期的に変わりましょう。平均気温は平年並みかやや高く、降水量は平年並みでしょう。また、日照はやや多いみこみです。

平年値表

地名＼月	気温(℃) 3	4	5	降水量(mm) 3	4	5	最深積雪(cm) 3	4
新潟	4.7	10.4	15.7	114	99	94	12	−
高田	4.3	10.6	15.9	211	111	103	117	30
相川	5.1	10.3	14.9	100	104	98	6	−
長岡	3.7	10.6	16.9	176	113	102	79	17

あなたはもうおすみになりましたか

交通災害共済加入の申込み

お一人年額

三五〇円の掛金です。

連絡員さんか役場（企画課）で受付けます。

新潟米の生産推進をはかろう

消費地と産地をむすぶ米つくり

米生産地として、新潟米の地位を一層高め農家所得の増大と良質米の安定的供給をはかるため、県民総ぐるみの新潟米生産推進運動を展開しております。

そのため一大銘柄産地を形成し越系の良質米をより安く生産しより多く販売し新潟県が名実ともに米どころとしての名声を高め農家所得をふやすことが必要であります。昨年産米は上位等級比率の不振にもかかわらず皆さんの努力によって新潟米の人気は高まっています。その中でも魚沼米の人気は非常に高く評価されており、今年の米づくりの出発点にあたって昨年の反省をしながらもう一度つぎの事柄を重点に稲作計画を点検してみて下さい。

一、優良品種の作付けをふやし新潟米の名声を一層高めましょう。

町では越後早生、コシヒカリを中心に越系奨励品種を重点品種として選定しております。あなたの農家組合、集団でも良質優良品種の作付けをのばすよう話し合いをして下さい。

二、よい苗を育ててさいさきのよい出発をしましょう。よい品種よい種子籾を正しく消毒し、うすまきを行い、そろって丈夫な健苗を育てるために農家組合、集団ごとに田植時期に合せて播種期、播種量、さらに共同管理などの相談をしあいましょう。苗代資材の準備は完全でしょうか確かめてみて下さい。

三、地力を高めてより一層品質向上をはかりましょう。地力の高いほ場からは昨年も品質の良い米がたくさんとれています。近年機械収穫の導入と労力不足から稲わらをもやすため、地力がおとろえております。稲わらはすべてほ場にかえすよう努めて下さい。

県では新潟米の推進をはかるため毎月一日の日を「新潟米の日」に定め、米づくりの相談口としておりますのでご相談は農業協同組合市町村、農業改良普及所を御利用下さい。稲作計画をがっちり固め農業所得の増大に向って進みましょう。

水質汚濁性農薬PCP等

全面使用禁止になります

最近農産物における農薬残留問題については住民の生活環境保全や保健衛生上の見地から、各種の安全対策を講じておりますが、その一環として農薬の安全から適正な使用を確保できるよう農薬残留に関する安全使用基準を定め、その指導に努めております。しかし水質汚濁性農薬のPCPやパムコン等については特に安全対策の確立が要請されており、さきに農薬取締法の一部改正が行なわれ農薬の安全性確保のため各種の規制が強化されました。県では人畜水産動植物等の危被害や公共用水域の水質汚濁の防止をはかるため農作物病害虫雑草防除指針からこれを削り使用しないよう指導しておりましたが、今回の改正で水を汚す農薬について使用規制区域を設定する要領を作り指導することになりました。川口町では県の指導要領により農業関係団体や農薬販売業者漁業組合等の意見を聞き検討しましたが特に川口町では河川や養魚地、養魚田等が多くあり、県の要領から見ると全町が使用規制区域に該当しますので次の水質汚濁性農薬について昭和四十七年三月決定しましたのでお知らせいたします。尚小千谷市についても全面禁止をしておりこれらにかわる代替農薬としては各農薬取扱業者に指導するようお願いしてありますのでお聞き下さい。

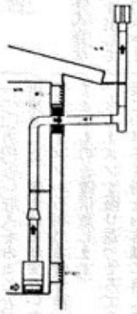
一、PCP粒剤　水溶剤
パムコン粒剤　ベアサイド粒剤
二、マノック粒剤　MP粒剤
三、トリサイド粒剤　PP水田除草剤、エヒデン粒剤
四、テロドリン粒剤
五、エンドリン粒剤　乳剤　粒剤
六、チオダン水和剤　乳剤
マリックス乳剤
ロテノン加用DN乳剤
デリス粉剤
クロンPCP

ガス風呂は必ず煙突をつけて

あなたのお宅は大丈夫ですか

ガス事業法が改正になり、浴室内に、たき口があるガス釜は、外気まで通じる煙突をつけないと、ガスを使用することができなくなりました。

煙突のほか、吸気口（新鮮な空気の取入口）と排気窓（汚れた空気を自然に外へ出す口）も必要とされています。



たき口が浴室外にあるガス釜は、吸気口、排気口のほかに換気扇があれば煙突がなくてもガスの使用ができることになっています。

ご存知のとおり、ガスは空気中の酸素により完全燃焼するもので、室内が換気不良になると、酸素が不足して不完全燃焼し、一酸化炭素が発生、中毒事故をおこします。

川口町が供給している天然ガスは（九四〇〇Kcal）一㎥を完全に燃焼させるに約十一倍の空気が必要といわれます。

ガスストーブでも、部屋の大きさに応じて、時々窓をあけて、新しい空気と入替えることが必要です。まして、冬期間の浴室内は換気不良になりますので、吸気口や排気窓のほかに、煙突をつけ、ガス釜の排気ガスを外へ出すことが必要とされたものであります。

これから、厳しく取りつけるガス風呂のうち、浴室内でたくガス釜は煙突をつけるまで、ガスの取付け工事をしないことになります。

現在すでに、煙突をつけずに使用している浴室内のガス釜は、できるだけ早めに煙突をつけていただくよう、企業課で指導することになりました。

中気予防十訓

(1)酒も身の中、濃腹さけて、肉の脂と血気はさけよ。
(2)熱い入浴、長湯は禁物。サット洗って風邪ひくな。
(3)過労、心労血圧をあげる。腹を立てずに早寝と行こう。
(4)中気、心臓、寒さが大敵。霜の立つ日は温々と。
(5)リキム便通中気を誘う。野菜多めに便秘をさける。
(6)寒夜の手洗い死神誘う。寒中冬は部屋の中。
(7)受診は早期、治療は長期、検査は定期に忘れずに。
(8)外見健康、早期に検査　血液脂肪に動脈硬化。
(9)家中の中気予防は主婦の手で。
(10)自分勝手にくすりはハット。主治医の指示でひと安心。

新潟県体力つくり移動教室

スクールゾーンを重点に

―春の交通安全運動のすすめ方―

運動の目的は、歩行者、運転者、運転者の雇い主、その他陸上交通に関係あるすべての者に交通安全思想の周知徹底をはかり、正しい交通ルールの実践を習慣づけ事故防止をはかろうというもの。

期間

準備期間　3月16日～4月5日まで

運動期間　4月6日～4月15日まで

運動の重点は、とくに新入学児童、園児および幼児の事故を防止するため、小学校を中心とするおおむね半径五百メートルを範囲とするスクールゾーンを設定し、区域内における交通環境づくりと、安全運転の励行をはかり、地域くるみの交通安全活動を集中的に展開しようというものである。

そこで具体的な計画として町ではスクールゾーン（学村区域）を設定し、保育所、学校に対しその周知の徹底をはかるため、広報活動と積極的な街頭指導、パトロールを行ない、こどもと保護者への意識の高揚につとめる。

また、運転者や各事業所へも安全運転の励行を徹底させ、参加意識をたかめる構えである。

一方、教育委員会、学校には、一日入学等の機会をとらえ、こどもと保護者に対する指導や、校内放送の利用、通学路や遊び場の再点検、自転車の乗り方の指導など交通教室を開催すると共にPTAの交通教室も期間中は必らずひらかれるよう望んでいる。

さらに社会教育の面では、家庭教育学級、青年学級等におけるプログラムの編成をおこない事故防止運動への参加意識をつよめるよう配慮するなど、町くるみでこの運動に取り組まなければならない。

青年の団体加入促進に関する研究会に出席して

去る二月二十五日、町総合福祉センターで、県青少年対策室と町の共催で、巡回研究会が開かれた。

ねらいのポイントは、益々複雑化する社会情勢の中で、どうしたら青少年が健全に育成されるかを県内の数地区で巡回研究会を開催し、それぞれの地域に関心をよびおこすと同時に、県でこれを集約して具体的な対策を打ち出そうというもの。

当日は、何分にも平日とあって参加者が限られ、折角の努力も完全には報いられない感もあったが出席された代表の方々からは活発な意見が出され、特にパネルマンとしてその任につかれた方々の発表は、町のこの問題に関する中枢を突くものとして貴重なものだった。この研究会は、それぞれの結論を出すことではなく、青年の組織に関する現状と、青年が現在望むことは何か、団体とその加入についての考え方等を心ゆくまで話し合い、理解し、今後の進み方に深い関心をよせていくことにあった。当日の話し合いを集約するとかつて活発な活動をみせた川口町青年協議会等という形にとらわれることなく、様々な形で存在し、今後も誕生するであろう各種のクラブやサークルを尊重し、その活動を尊義付け、互いに連携を保ちながら運営する。また、必要ある場合は、これ等の各単位組織が寄りあって話し合う場を持つことが望ましい。ということであった。

この研究会から感じたことは、町全体で青少年に目を向け、あたたかい環境づくりと従来に倍して関心を持つことが目的に対する第一歩として受けとられたことである。そして「各自が積極的に参加する心」と、痛切に感じたことである。

（Y生）

＝きざみ＝と心のかけ橋

（町のかたすみで）

朝、それも七時。一日の生活がリズムにのって動き出した。

バス停にバスがくる時刻。四、五人のつとめ人が乗るはずだが、その日はどうしたのか自分一人。と、対向かいから大きな風呂敷包みを肩にかけ、はく息も白く、元気な顔でニコニコと横断してきた一人のまだまだ若いご老人。

「一番バスで帰るところ」という。話すことと現実のくいちがったような錯角を覚えながら話しあう。

きざみたばこ一箇を待つ一人の老人のため、一番バスで来て一番バスで折り返すこの人の心。私はその若い者にはみられぬ円熟した人柄と、いくつになっても消えることのないと思われる豊かな、そして柔和な表情にひとときは酔った気分をどうすることもできなかった。やがてバスが来た。二人ともバスに乗りこんだ。

この日の一番バスは特にかろやかで、心よいエンヂンの音色だった。その人は、川口二丁目で下車し、朝食の待つ我が家へと歩みを進めていった。

私は夢み、想像した。「あたたかいご飯と、みそ汁が主人をいたわるように待っている」と。楽しい朝げのようすを思いおこしながら、「ご老人よ、いつまでもしあわせに」と。

（H・S）

若人ならば

中学卒業生諸君に

北原克二

私が新潟につとめていた時のことである。ある運動具店の社長から相談をかけられた。その商店の店員が車で販売に出て、停車中に鍵をかけなかったので、ライトバンの新車を商品ともどもぬすまれたというのだ。そこで「どうしたら若い人たちが責任を持って仕事をするようになるでしょうか」ということだった。また、ある高校の卒業式に参列した時のことである。さそや厳粛で感激的な式であろうと想像して行ったら、式の終るまで、卒業生の間でヒソヒソと私語がかわされて相当なざわめきとなっていた。代表の答辞には「高校生活は教師の一方的なつめこみ教育でさっぱりおもしろくなかった」というようなことをくどくどのべておった。

このふたつの事例で、いまの若い諸君がさっぱりだめだなどというのではない。りっぱな若者や学生、生徒はいくらでもいる。

ところで、私は本町の中学校卒業生諸君に次のことを望みたい。

高校に進学する諸君は、テストのための勉強だと思っ。だめだ。学問のおもしろさを求めて勉強してほしい。学問の深さは底知れぬ程深い。我々人間の先輩諸氏が何百年何千年かかって研究してきた道である。諸君がその道に入りこみ、更に前人未踏の分野を開拓するような意気ごみで取り組むならば、学問のおもしろ味もでるし、つめこまれ教育などとは少しも感じないだろう。

さて、前の運動具店の店員だが、車を商品をつめこんで、学校や工場などを廻って、売れても売れなくても、月給にかわりはないというような気ではだめだ。バレーボール一個についても、皮は何皮か、その長所短所は何かなどを調べる。運動靴一足についても、布の材料の質や強度、底ゴムの成分、強度、製造工程など研究してほしいものだ。自分の売る製品についてはそのくらいの専門的知識を持ってほしい。そのくらい自分の仕事をすきになってもらいたい。

世界や社会は自分を中心に廻っているのではない。他人にあましてくれ。こうしてくれというへんなあまえはすてよう。

永前寺清子の歌の中に「男なら男なら」というのがある。

卒業生諸君、若人なら…若人なら、積極的に体あたりで自分の仕事に、自分の勉強にぶつかっていってもらいたい。

スキー場報告

川口町観光開発株式会社

町の皆様から尊いお金を出していただき完成しました川口スキー場は年末年始の予約状況は宿泊施設も少なく予約をある程度で締切らせていただくほどの盛況でしたが正月五日すぎにはすでに雪も少なく、ゲレンデも全部かくれないでところどころ土が見える状態となり、満足に滑れないため十六日にはリフトの運転を休止致しました。せめて町内の小中学生だけでも楽しく滑らせてやりたいと種々雪に手を加えましたが打ちつゞく暖冬と言う自然の法則に勝つことが出来ませんでした。

折角の皆様の期待に添え得なかったことをおわび致します。然し乍らわづか十日間程度の営業でしたが、リフトや貸スキーその他で一〇〇万円近い収入をみることが出来ました。暖冬は毎年来ないのでシーズンから相当希望を持ってよいものと確信致します。

今シーズンを振り返ってみて今後このスキー場をお客様に喜んで貰えるスキー場にするにはゲレンデを整備すること、下の滑び場所を整地すること、駐車場を設けること、そして町の方々が素朴なあたたかい愛情でお客を迎えること等が大切なことであろうと考います。次に食堂業店経営を川口町西工会が分担し相当大きな犠牲を払い乍らも協力いただいたことと民宿経営も損を覚悟で協力して下さった車に対して紙上をかりて厚く御礼申上げます。新幹線、高速道路等による首都圏への近接と週休二日制による大型レジャー時代にそなえて川口町が観光開発の第一歩として建設したスキー場を足がかりとして明日の川口町をどのように明るい住みよい豊かな町に進展させるかを皆様と共に考い努力して参りたいと存します。

児童手当の支給はじまる

すでにご承知のとおり、今月は第一回の児童手当が支給されます。

今回の対象者はもれなく申し出がすみ、町全体では人が支給支給されることになりました。

児童手当は、児童を健全に育成する場である家庭における生活の安定をはかり、その目的が十分に達せられることをねがいとして、国が定めた唯一の制度であります。

従って、単なる一つの収入だとの甘い考えや、どこにつかわれたのかそのかげも残らないようなことがあるとしたら法の精神はもちろん、とんでもないことといわれてもしかたがないでしょう。

しっかりしためあてと、確実な計画のもとにつかわれてこそ、わが子の健全な成長がはかられることをつねに念頭におき、どこの家庭からも明るいそしてあたたかいふんいきが誰れにも感じとれるよう心からねがっています。

（住民課）

婦人国内研修に参加して

【その二】

川口町社会教育委員　内藤フミ

十月一日、金曜日　豊橋市、私達はこのホテル（七階建）の五階の部屋なので毎朝エレベーターで食堂に行く。おそくとも八時にはホテルを出るので八時半には朝食をいただくのだが、今日で三日目同じ献立てトースト・コーヒー・卵・トマトジュース・水なのである。既かい味噌汁の味をチョッピリ思い出す。

地下鉄で名古屋駅まで講演の電車に乗り下りするのにもなれてきた。東海道線普通列車で二時間四十分で豊橋に着く。婦人会長さんと公民館主事さんがマイクロバスで迎えに来て下さる。きょうも埼玉県の研修生と一緒。公民館兼生活家庭館で交歓会をする。この生活家庭館は、青少年教育をするにはまず婦人の育成からという市の考えで建設されたとのことである。

昭和四十二年十二月オープン、鉄筋コンクリート二階建

工事費　四千三百万円

延面積　三百六十坪

本館　一階

会館事務室　団体役員室

管理人室　集会室

準備室（水事場）

料理実習室　物置　洗面

二階

会議室　（二部屋）

相談室　（各種団体）

花嫁着付室　（二部屋）

披露会場　（二部屋）

和室　（茶屋）

写真室　（一部屋）

結婚式場　（一部屋）

談話室　（大一室）

洗面所　（二ケ所）

物置　（一）

このほかに本館と渡り廊下で大集会室兼体育館とつづき、その隣りに現在日本一間七十畳位の建物が建設中ですばらしいの一語につきる。良い日だったせいか、四組午前二午後二の結婚式が予定され、私達が訪れている折も一組の結婚式中であった。県の主事長坂先生も豊橋は愛知県でも一、二番といわれても過言でない。婦人・青少年教育に熱心な市で、恵まれた施設を持った所ですと言われた。

この生活家庭館で年間通して行われている趣味の教室の内容のすばらしい事。

月曜　料理・書道・ペン習字

火曜　和裁・茶の湯・七宝焼

水曜　手芸（あみもの）・料理

詩吟・俳句俳画

木曜　いけ花・創作教室・手芸

ローケツ染・フラワー

金曜　古典文学・民踊・謡曲・

いけ花

これらの講師の謝礼はとくになく交通費の実費をあげるぐらいで社会教育に協力して下さる先生方におねがいし受講する婦人は教材費を負担するだけである。何ともうらやましいかぎりである。

豊橋市の野外活動センターは全国で最初のテストケースとして義務制度になっている。

目的は身心の鍛練と社会に奉仕すること。該当者は小学五年生から中学生まで。必ず泊ること。大平洋の波を受け、後は山の大自然にかこまれた中に建てられたこの施設には、毛布、なべ、釜三百名分、キャンプファイヤー用の薪までとり揃えられていて、小学生は一泊二日（屋内）、中学生二泊屋外一泊屋内一泊する事になっていて食事寝具の事はすべて自分達でするきまりになっている。この野外センター、別名黒潮村には一般の団体の利用希望も多く目下青少年自然の家を計画中との事であった。

夕方雨の名古屋駅よりタクシー三台に分乗して名古屋城のすぐそばに建てられた愛知県婦人文化会館の見学をする。県民、とくに婦人が気やすく楽しく集会や学習の場に、又若返りと体力づくりの場として利用するために建築費三億二千万円、温水プール、トレーニング室もそなえたデラックスな建物であった。

名古屋駅地下街の小さな食堂で天プラ定食を注文する。なかなか出来てこない。そのうちだれかが野菜のとり方が少いからお腹の調子も変だわ、サラダもとって、と言う一人前二百円のサラダは、レタスが一枚半、キウリ三切れ、トマト小半分、リンゴ半分、これにスピックリ。お酒好きのMさん最後日だからいいでしょと一本注文する。すみの方でKさんと二人でチビリチビリやりはじめたけど盃四はいでなくなったわ、と目をパチクリ。定食も並で注文したのに上にしましたと五五十円とられ、定食、サラダでも百五十円也またも予算オーバーでもどうにか明日の車中でのオヤツ位は買えそうだ。計算記入して明日の生活当番に渡す。愛知県最後の夜、きょう一日の研修記録をみながら話し合い、その後、ホテルの廊下にある自動販売機より缶ビールとつまみを買い全員でカンパイして各部屋に帰る。

十四畳の部屋に四名、四泊もすれば気心もたいてい知れてくる。畳一枚分の広さのところに、風呂トイレ・洗面とが一つの部屋になっているのでなれないうちは、まごついたけど、これも今夜一晩、明日は手足を十分のばして家の風呂に入れるな、シャワーを浴びながら家族の顔を思い浮べる。午後一時お隣りの部屋でもまだ起きていらしい。

十月二日

八時半ホテルロビーに二男が迎えに来る。名古屋駅ホームの待合室に全員荷物をおいて二男に番をしてもらい、土産を買いに走る。なにしろ今までこんな時間がなかったから。帰りの車中も楽しく、今度は名古屋へ観光に来ましょうと皆で話し合う。あの有名な豊川稲荷にお参りも出来ず名古屋城、犬山城のすぐそばまで行っていながら城内に入る時間もないほど忙しい、研修であったが、かえって国内研修生であるとの自覚が出てスッキリした気分である。

九月二十七日から十月二日まで五泊六日の国内研修に参加出来た事を、国県や町の社会教育関係の先生方に感謝すると同時に留守をしっかり守ってくれた家族にも感謝し、貴重な体験を今後に生かしたいと思う。

公民館図書案内

この度左記の図書を購入いたしました。福祉センター図書室でおたのしみ下さい。

○新平家物語（全六巻）吉川英治

○にっぽん三銃士（上下）五木寛之

○人生の本（1）

愛をめぐる断想　曽野綾子

○人生の本（11）

師と友　〃

○日本と中国人　陳舜

○冠婚葬祭入門　塩月弥栄子

○続々冠婚葬祭入門　〃

○男は度胸　柴田錬三郎

○竜馬がゆく　司馬遼太郎

奔賀

―話が下手では話にならぬ―

○日本文学全集「石坂洋次郎集」

○同　「川端康成集(1)」

○徳川家康（全二六巻）山岡荘八

○現代世界百科事典（1）

○沖縄・北方領土

以上

公民館図書の充実について

川口三郷久松さんより多大の寄附をいただきましたことを紙面を借りて深く感謝申し上げます。

係

「アイデア」を募集します

日常生活の中で、ほんのちょっとした思いつきが大変役立ち、便利だったということがありません。でしょうか。料理のこと、物の始末や整理整頓のこと、廃物利用などいわば生活の知恵とでもいいましょうか、ちょっとの工夫が家外重宝するものです。こうしたあなたのアイデアをお聞かせ下さい。

昭和四十七年

交通安全スローガン

○運転者向け

とっさの時に、避けられますか、その運転で

○歩行者向け

ゆっくり待って、さっさと渡る

○こども向け

ああドッキリ、フイなとびだし　もうしません

国体スキー出場

雪と氷の祭典札幌オリンピック閉会を待って、第27回国体スキーが鳥取県の大山スキー場で2月20日より7日間に亘って開催された。

この国体に栄えある県代表として距離少年組15Kに出場出来た佐藤君。「5年間、この日を待った久しく耐えてきたかいがありました」と本人は強化合宿で日やけした真黒な顔で一言。

「今年はボクにとっては最良の年でした。国体とインターハイ（全国高校）と出場権を得、その上、県高校選手権、国体予選と県内の大会に出ると勝ちばかり（いずれも優勝）ほんとうにみなさんに感謝します。」と満顔をほころばす。

中山の佐藤多吉氏の長男に生れ、現在長岡農定時制三年に在する全くの勤労学生。中学時代からスポーツが好きで、特に駅伝大会のベストメンバーとして格付され、スキーは良き指導者には恵まれず地元の山スキーを楽しむ程度ところがこの4、5年、春秋のマラソンや駅伝競争には町代表として欠かせないベテラン選手として活躍。小柄な体力で持ちまえのファイト満々、まさに破竹の勢いでその実力を発揮してきました。

国体での成績は少年組15Kに北海道・青森・長野の強豪を相手に堂々第7位　50分33秒。そして最終日の少年組リレーには力走し、総合第4位　ラップタイムとして出場選手第三位31分46秒という見事にその突進男ぶりを発揮しました。

なお、兵庫県神鍋スキー場で開催される予定の第21回インターハイは雪不足のため中止になり、その期待は夢となり誠に残念であった。中山スキー場開設の年に中山から少年組新潟県一が生まれたことは町として意義があり、喜こばしいことである。今後日本のトップレベルの選手として着実な成長ぶりを示し、一年後の塩沢国体では成年として立派に戦える力を身につけ大いにその活躍を期待したい。本人の一層の精進と地域の後援を切に願うものであります。

川口地区　山田

⁉突進男⁉

佐藤直利君（中山出身）

明るい村づくり学級に学んで

田麦山婦人会長　大瀧ノブ

明るい村づくり学級の運営については町公民館・役場・農協・小千谷農業改良普及所と各機関のご指導を得て、実生活に直接役立ついろいろな学習が出来ますことを大変喜んでおります。

田麦山地区の場合地区館が活動主体となり地区婦代部落婦代、青年会婦人会と地域をあげて明るく住みよいところにと、お互いに前向きの姿勢で地域の問題点と取り組み、少しでも良いことは実践しようと発足したのですが、二ケ年を経過した現在では婦人だけの学級となりました。

明るい村づくり、豊かな町づくりと言う活動は既に各地で行われ何も新しいことではありませんが私は、わずか二ケ年の学習活動を通じて今更乍らその活動の重要性を痛感いたしました。特に田麦山地区の場合、交通の不便、労働条件の悪条件等から懸命に地域をあげて取り組んでゆかなければならないと考います。私達主婦は家事に農作業に追われ、ともすると家庭の中にとじこもりがちですがせっかく機会を与えていただきましたこの学級を大切に盛り上げ自分自身のため社会のため学習を続けてまいりたいと存じます。

料理の献立、カロリー計算、成人病、血圧の測定　或は漬物工場の見学、又各家庭の栄養調査等研究し合い、話し合い、尊い知識を修得出来ました。中にはすぐ実行出来るものもあり、又大きな問題で地域総くるみで当らなければならない問題等学級を進めてゆけばゆく程問題が多くなるようです。

郡小学校親善スキー大会に参加して

小学校の運動競技大会の歴史は浅い。だが、北魚沼郡は、他の郡市に比較して、非常に活発であり、その成績もよい。

各競技会（親善大会）への参加は新しく、川口小学校では、四十五年度から参加している。参加の理由はいくつかあげられるが、子どもたちの持っている運動能力を引き出し、伸ばしてやること、根性を養い、がんばり通す意志を育てることが主たるねらいで、勝って学校の名をあげることや、一部の児童だけの成績を考えるようなことはない。

スキー大会は、第四回を数え、昨年より参加している。年々盛んになり、今年は、十九カ校の参加があり、参加者も、アルペン（回転のみ）ノルディック（距離）で三百八十名という中学・高校の大会に比べても遜色ないものであった。今年は、雪が少なく、どこの学校でも練習には苦労したようであり、山間部の小規模校の成績が良かったのも、雪に恵まれたせいもあったかも知れない。川口小スキー部は、ノルディックを主に（回転一名）昨年、古田島教育長より、ノルディックの練習法について、指導いただいたことをもとにし、十月より、基礎体力づくりを十分にやった。さらに、降雪に合わせて、雪を求めて、川口スキー場の裏側へ行き、土・日曜日には、スキー場管理人室をご好意により借用させていただき練習しました。

スキー部の子どもたちは、スキー技術の習得のみならず、精神的にも身体的にも強く、たくましくなり、人間としての成長も大きかったように感じました。ある母親は、子どもの身心の成長をよろこぶ手紙を寄せてくださいました。

スキー大会の成績は左記の通りです。

第四回　親善スキー大会（47・2・24）

○距離男子（一五五名参加中）

七位　十五位　二十三位　三十位

○距離女子（九九名参加中）

十位　二十六位　三十位

○リレー男子　五位（十六チーム）

○リレー女子　六位（十四チーム）

※　スキー大会以外で本年度の大会の成績は、次の通りです。

第七回　親善野球大会（46・7・15）

準優勝　川口小チーム

第五回　親善水泳大会

十六種目中三種目優勝

川口小体育部　南雲和男　本間俊一

スキーの模範演技者に合格

企業課の　佐藤君

川口スキー場がオープンして、スキー指導員が大量に必要とされているとき、企業課内の佐藤正明（二〇才）君が、このほど行われた、信越スキーデモンストレーター選考会に見事合格した。

デモンストレーターとは模範演技者という意味で、スキー指導員のなかからスキー技術にすぐれた者が選ばれ、スキー講習会等で模範演技を行うもの。

佐藤君は、長岡農高時代にスキー技術一級に、本年二月準指導員に合格している。

スキー場が、スキー学校を開催するには、最低、指導員一名、準指導員二名を必要とされているが町には、この種の技術者が少ないことから今回の合格に、川口スキー場関係者は大喜びである。

ことしの中学校卒業生の進学就職の状況

豪雪地、加えて山間へき地を有する恵まれない地域の実情の中で高校進学率の低迷は、教育関係者にとって、頭の痛い問題である。しかしながら、全国的には、高校や大学に進学する者の数が急激に増加している。各町村とも過疎化現象が進行し、年々生徒数の減少に伴い、学級数も減少しつつあるのに、高校進学率は、年々高まってきている。ちなみに北魚沼郡にあっては、昭和四十六年度の高校進学率を、昨年度のそれに比較すると、八・七%の伸びで、県下でも著しるしい増加を示した。このことは教育の機会均等からも、高校教育の義務化しつつある傾向の中で、喜こぶべきことであり、それが地域振興につながると共に、今後も大いに奨励していきたいものである。

進路状況

校別	生徒数	進学者	学数	就職者	職数	就職先 県外	就職先 県内	訓練施設	在家
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
木沢中	9	6	2	2	2	0	0	1	1
田麦山中	20	10	7	7	0	2	0	1	1
川口中	109	79	12	3	9	17	1	3	3
合計	138	95	21	12	9	19	1	3	3
%	100	68.8	15.2	8.6	6.6	13.8		2.2	

高等学校別進学希望状況

全校	小千谷 普通	小千谷 定時制	小出 普通	小出 商業	小千谷西 普通	小千谷西 家政	長岡工業	塩沢商工	六日町女子高	長岡農高	長岡女子高	中越高	長岡商業	長岡工専	合計
男	14	0	1	7	0	0	9	5	0	7	0	3	2	1	49
女	13	3	1	4	16	5	0	0	1	0	1	0	2	0	46
計	27	3	2	11	16	5	9	5	1	7	1	3	4	1	95

就職希望者の職種別

就職先	性別	美理容 店員	鉄工業	縫製	機織	その他工業	合計
県内	男	1	0	1	0	1	2
	女	1	0	0	3	0	4
	計	2	0	0	3	1	6
県外	男	0	1	1	0	1	2
	女	1	0	0	12	0	13
	計	1	1	1	12	1	15

年賀状コンクールに初の入選

一月十日細川郵便局長が一通の賀状と水絵具一箱の賞品を携えて川口小学校を訪れた。

入選　小学生の部

川口小学校　渡辺敏生君

あなたの作品は第二十一回全日本年賀状版画コンクール信越予選において優秀な成績をおさめたのでこれを賞します。

長野郵政局長　田中恵治印

校内のひと組全員がコンクールに応募した。本県の応募数は八五五であるが、入選したのはそのうち十五点であった。

校長は全校朝会に実物を示して披露した。

（写真は本人とそれと同一の作品）

四十六年度「家庭教育学級」終る

本年度社会教育の一つとして、子どもの家庭教育についての学習を主体とした講座を開設してまいりました。学童を持つ両親を対象とした両親学級（母親学級）を山ノ相川・田麦山・泉水の各学校に委託して、それぞれ一学級づつ開設、中央公民館の事業として、保育園児を持つ母親を対象とした「家庭教育学級」を毎月一回開設して来た訳であります。

今その概要をふりかえってみますと、各月の主題は次の通りであります。

7月　家庭での子どものしつけ

8月　子どもの健康について

9月　子どもの道徳観について

10月　子どもの良い習慣のつけ方

11月　子どもの素質の伸し方

12月　子どもを育てるための父親の役割、母親の役割

1月　子どもをめぐる家庭内の人間関係

2月　情操教育について

3月　幼児の性格形成について

このような主題の下に、映画を通じ、又講義や話合いをすすめて来たのですが、一番残念であったことは主催者の不手際からでしょうが出席者が割合少かった事です。

頭初計画をたてるに当り、お母さん方の希望や意見をアンケートで求め、出席希望をとった時には六十名を超える希望者があり、主催者は大喜びしたのですが、いざふたを開けて見ると閑散とした集りにがっかりしたものです。

それでも二十・三十才台の若いお母さん方が毎回熱心に学習を続けられた事に対し、主催者として心から敬意と感謝の意を表します。

この事は来年度も継続して実施する計画でありますが、どうしたら皆さんから喜んでいただける魅力ある学級に育てることができるか真剣に考えて行き度いと思いますので、より多くの出席を今からお願い致します。

新成人講座について

例年実施して来た新成人講座は今年も去る二月二十七日に開講式を行い、星野町長の「町の現状と将来の展望」丸山教育委員の「成人ということ」の講演をいただき次いで、三月五日、三月十九日と予定通り進めてまいりました。

この講座は既に御案内の通り、成人としての自覚と教養を高める成人達令者同志の仲間づくりをする。私たちの町を理解する等をねらいとしているものです。

あとは四月二日の対話集会、四月九日の時事問題講演の二講座を残すのみとなりました。多数皆さんの参加をお待ちいたします。

≪新春囲碁・将棋大会≫

野崎三郎（東部）将棋（）で総合鈴木作蔵（相川）囲碁　優勝！

町囲碁将棋同好会主催により、去る一月十六日、町総合福祉センターに於て開催。

囲碁、将棋を通じて相互の融和を図り、もって健全娯楽としての普及発展を願う、公民館の主旨に添え、毎年開かれているもので、年々参加者がふえている。実力の程度により将棋は松、竹、梅、月組に、碁はA級B級と分けて行なわれた。以下成績は次のとおり。

成績

将棋の部

総合優勝　野崎三郎

松組　竹組

一位　堀沢哲男　一位　大潮秀夫

二位　上村　功　二位　堀沢　敏

三位　渡辺　誠　三位　広井　孝

梅組　月組

一位　渡辺静夫　一位　野崎三郎

二位　内藤義之　二位　小林幸雄

三位　渡辺　猛　三位　渡辺藤太郎

囲碁の部

総合優勝　鈴木作蔵

A級　B級

一位　鈴木作蔵　一位　青木寅吉

二位　大橋快泉　二位　宮　才治

三位　星野　一　三位　関　嘉一